

令和5年

第1回可茂衛生施設利用組合議会定例会
議案書

令和5年3月15日

目 次

議案第 1 号	令和 5 年度可茂衛生施設利用組合一般会計市町村分担金について ..	1
議案第 2 号	令和 5 年度可茂衛生施設利用組合一般会計予算について	2
議案第 3 号	令和 4 年度可茂衛生施設利用組合一般会計補正予算（第 4 号） について	3
議案第 4 号	可茂衛生施設利用組合一般廃棄物処理施設の設置及び管理に関 する条例の一部を改正する条例の制定について	4
議案第 5 号	可茂衛生施設利用組合個人情報保護に関する法律施行条例の 制定について	7
議案第 6 号	可茂衛生施設利用組合一般廃棄物処理施設建設候補地選定委員 会設置条例の制定について	11
議案第 7 号	可茂衛生施設利用組合職員の再任用に関する条例を廃止する条 例の制定について	13
議案第 8 号	可茂衛生施設利用組合手数料徴収条例の一部を改正する条例の 制定について	14

議案第 1 号

令和 5 年度可茂衛生施設利用組合一般会計市町村分担金について

令和 5 年度可茂衛生施設利用組合一般会計市町村分担金を、別冊のとおり定める。

令和 5 年 3 月 15 日提出

可茂衛生施設利用組合管理者 富田 成輝

議案第 2 号

令和 5 年度可茂衛生施設利用組合一般会計予算について

令和 5 年度可茂衛生施設利用組合一般会計予算を、別冊のとおり定める。

令和 5 年 3 月 15 日提出

可茂衛生施設利用組合管理者 富田 成輝

議案第3号

令和4年度可茂衛生施設利用組合一般会計補正予算（第4号）について

令和4年度可茂衛生施設利用組合一般会計補正予算（第4号）を、別冊のとおり定める。

令和5年3月15日提出

可茂衛生施設利用組合管理者 富田 成輝

議案第 4 号

可茂衛生施設利用組合一般廃棄物処理施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

可茂衛生施設利用組合一般廃棄物処理施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例を次のとおり制定する。

令和 5 年 3 月 15 日 提出

可茂衛生施設利用組合管理者 富田 成輝

記

可茂衛生施設利用組合一般廃棄物処理施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

可茂衛生施設利用組合一般廃棄物処理施設の設置及び管理に関する条例（令和 3 年可茂衛生施設利用組合条例第 1 号）の一部を次のように改正する。

改 正 前	改 正 後												
<p>(定義)</p> <p>第 2 条 この条例における用語の意義は、次に掲げるもののほか、廃棄物の処理及び清掃に関する法律（昭和 45 年法律第 137 号）及び浄化槽法（昭和 58 年法律第 43 号）の例による。</p> <p>(1)～(3) (略)</p>	<p>(定義)</p> <p>第 2 条 この条例における用語の意義は、次に掲げるもののほか、廃棄物の処理及び清掃に関する法律（昭和 45 年法律第 137 号）及び浄化槽法（昭和 58 年法律第 43 号）の例による。</p> <p>(1)～(3) (略)</p> <p><u>(4) 災害廃棄物 非常災害により生じたし尿等以外の災害廃棄物をいう。</u></p>												
<p>(名称及び位置等)</p> <p>第 3 条 施設名称、位置及び施設の内容は、次のとおりとする。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">名 称</th> <th style="width: 33%;">位 置</th> <th style="width: 33%;">施 設 内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">(略)</td> </tr> </tbody> </table>	名 称	位 置	施 設 内 容	(略)			<p>(名称及び位置等)</p> <p>第 3 条 施設名称、位置及び施設の内容は、次のとおりとする。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">名 称</th> <th style="width: 33%;">位 置</th> <th style="width: 33%;">施 設 内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">(略)</td> </tr> </tbody> </table>	名 称	位 置	施 設 内 容	(略)		
名 称	位 置	施 設 内 容											
(略)													
名 称	位 置	施 設 内 容											
(略)													
<p>(処理対象廃棄物)</p> <p>第 4 条 施設で処理する廃棄物は、可茂衛</p>	<p>(処理対象廃棄物)</p> <p>第 4 条 施設で処理する廃棄物は、可茂衛</p>												

生施設利用組合規約（昭和35年岐阜県指令第908号）第2条に規定する構成市町村（以下「構成市町村」という。）内で生じた廃棄物で、次に掲げるものとする。

(1)～(4) （略）

2 前項の規定にかかわらず、災害廃棄物 その他管理者が処理することが必要であると認める廃棄物については、これを処理することができる。

（施設使用者）

第5条 前条第1項に規定する廃棄物を搬入し、処理することを目的として施設を使用できる者（以下「使用者」という。）は、次のとおりとする。

(1)～(2) （略）

（使用料）

第6条 第4条第1項第1号、第2号及び第4号に規定する廃棄物を処分しようとする使用者は、別表に掲げる廃棄物の区分に対応する単価に、消費税法（昭和63年法律第108号）に定める消費税の税率を乗じて得た額及びその額に地方税法（昭和25年法律第226号）に定める地方消費税の消費税率を乗じて得た額を合算した額を加えた額（1円未満の端数が生じたときは、その端数金額を切り捨てた額。以下「使用料」という。）を納付しなければならない。

2 使用料徴収の基礎となる重量は、施設に設置した計量器が示す重量に基づき管理者が認定する。

生施設利用組合規約（昭和35年岐阜県指令第908号）第2条に規定する構成市町村（以下「構成市町村」という。）内で生じた廃棄物で、次に掲げるものとする。

(1)～(4) （略）

(5) 災害廃棄物

2 前項の規定にかかわらず、特に管理者が処理することが必要であると認める廃棄物については、これを処理することができる。

（施設使用者）

第5条 前条に規定する廃棄物を搬入し、処理することを目的として施設を使用できる者（以下「使用者」という。）は、次のとおりとする。

(1)～(2) （略）

(3) その他管理者が特に認める者

（使用料）

第6条 第4条第1項第1号、第2号、第4号及び第5号に規定する廃棄物を処分しようとする使用者は、別表に掲げる廃棄物の区分に対応する単価に、消費税法（昭和63年法律第108号）に定める消費税の税率を乗じて得た額及びその額に地方税法（昭和25年法律第226号）に定める地方消費税の消費税率を乗じて得た額を合算した額を加えた額（1円未満の端数が生じたときは、その端数金額を切り捨てた額。以下「使用料」という。）を納付しなければならない。

2 第4条第2項に規定する廃棄物を処分しようとする使用者は、別表に規定する災害廃棄物の単価を適用して算出した使用料を納付しなければならない。

3 使用料徴収の基礎となる重量は、施設に設置した計量器が示す重量に基づき管理者が認定する。ただし、特別の事情が

3 管理者は、第1項の規定にかかわらず、同項に定める使用料によることが著しく不相当と認められる特別の事情があるときは、当該使用料について、特別の定めをすることができる。

4 (略)

別表 (第6条関係)

区_分	単位	金額
(略)		
(略)		

備考 (略)

あるときは、管理者は別の方法により重量を認定することができる。

4 (略)

別表 (第6条関係)

区分	単位	金額
(略)		
(略)		
3 災害廃棄物	10キログラム 当たり	270円

備考 (略)

附 則

この条例は、令和5年4月1日から施行する。

議案第5号

可茂衛生施設利用組合個人情報の保護に関する法律施行条例の制定について

可茂衛生施設利用組合個人情報の保護に関する法律施行条例を次のとおり制定する。

令和5年3月15日提出

可茂衛生施設利用組合管理者 富田 成輝

記

可茂衛生施設利用組合個人情報の保護に関する法律施行条例

(趣旨)

第1条 この条例は、個人情報の保護に関する法律（平成15年法律第57号。以下「法」という。）の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(用語)

第2条 この条例で使用する用語は、法及び個人情報の保護に関する法律施行令（平成15年政令第507号）で使用する用語の例による。

2 この条例において「実施機関」とは、管理者及び監査委員をいう。

(条例個人情報ファイル簿)

第3条 実施機関は、法第75条第1項の規定により作成し、公表しなければならない個人情報ファイル簿のほか、当該実施機関が保有している法第74条第2項第9号に掲げる個人情報ファイルについて、それぞれ同条第1項第1号から第7号まで、第9号及び第10号に掲げる事項その他個人情報の保護に関する法律施行令で定める事項を記載した帳簿（以下「条例個人情報ファイル簿」という。）を作成し、公表しなければならない。

2 前項の規定は、法第75条第2項各号に掲げる個人情報ファイル（法第74条第2項第9号に掲げるものを除く。）については、適用しない。

3 第1項の規定にかかわらず、実施機関は、記録項目の一部若しくは法第74条第1項第5号若しくは第7号に掲げる事項を条例個人情報ファイル簿に記載し、又は個人情報ファイルを条例個人情報ファイル簿に掲載することにより、利用目的に係る事務又は事業の性質上、当該事務又は事業の適正な遂行に著しい支障を及ぼすおそれがあると認めるときは、その記録項目の一部若しくは事項を記載せず、又はその個人情報ファイルを条例個人情報ファイル簿に掲載しないことができる。

(不開示情報)

第4条 法第78条第2項の規定により読み替えて適用する同条第1項の不開示とする必要があるものとして条例で定めるものは、可茂衛生施設利用組合情報公開条例（平成30年可茂衛生施設利用組合条例第2号）第5条の規定による可児市情報公開条例（平成11年可児市条例第22号）第7条第7号に掲げる情報とする。

(開示請求に係る手数料等)

第5条 法第89条第2項の規定により納付しなければならない手数料の額は、無料とする。

- 2 自己を本人とする保有個人情報の写しの交付を受ける者は、可茂衛生施設利用組合手数料徴収条例（平成28年可茂衛生施設利用組合条例第7号）に定める手数料及び当該写しの送付に要する費用を負担しなければならない。ただし、同条例に定める媒体による保有個人情報の写しの交付が困難な場合は、当該手数料に代えて当該写しの作成に要する費用を負担しなければならない。

(開示決定等)

第6条 開示決定等は、開示請求があった日から14日以内にしなければならない。ただし、法第77条第3項の規定により補正を求めた場合にあっては、当該補正に要した日数は、当該期間に算入しない。

- 2 前項の規定にかかわらず、実施機関は、事務処理上の困難その他正当な理由があるときは、同項に規定する期間を30日以内に限り延長することができる。この場合において、実施機関は、開示請求者に対し、遅滞なく、延長後の期間及び理由を書面により通知しなければならない。

第7条 開示請求に係る保有個人情報が著しく大量であるため、開示請求があった日から44日以内にその全てについて開示決定等を行うことにより事務の遂行に著しい支障が生ずるおそれがある場合には、前条の規定にかかわらず、実施機関は、開示請求に係る保有個人情報のうちの相当の部分につき当該期間内に開示決定等をし、残りの保有個人情報については相当の期間内に開示決定等をすれば足りる。この場合において、実施機関は、同条第1項に規定する期間内に、開示請求者に対し、次に掲げる事項を書面により通知しなければならない。

- (1) この条の規定を適用する旨及びその理由
- (2) 残りの保有個人情報について開示決定等をする期限

(諮問)

第8条 実施機関は、次のいずれかに該当する場合において、個人情報の適正な取扱いを確保するため専門的な知見に基づく意見を聴くことが特に必要であると認めるときは、可茂衛生施設利用組合情報公開・個人情報保護審査会設置条例（平成30年可茂衛生施設利用組合条例第4号）に規定する可茂衛生施設利用組合情報公開・個人情報保護審査会に諮問することができる。

- (1) この条例の規定を改正し、又は廃止しようとする場合
- (2) 法第66条第1項の規定に基づき講ずる措置の基準を定めようとする場合
- (3) 前2号の場合のほか、実施機関における個人情報取扱いに関する運用上の細則を定めようとする場合

(管理者の調整)

第9条 管理者は、この条例の目的を達成するため必要があると認めるときは、他の実施機関に対し、個人情報の保護に関し報告を求め、又は助言をすることができる。

(実施状況の公表)

第10条 管理者は、毎年度、各実施機関における個人情報保護制度の運用状況を取りまと

め、一般に公表するものとする。

(委任)

第11条 この条例の施行に関し必要な事項は、管理者が規則で定める。

附 則

(施行期日)

第1条 この条例は、令和5年4月1日から施行する。

(可茂衛生施設利用組合個人情報保護条例の廃止)

第2条 可茂衛生施設利用組合個人情報保護条例（平成30年可茂衛生施設利用組合条例第3号。以下「旧条例」という。）は、廃止する。

(経過措置)

第3条 次に掲げる者に係る旧条例第5条の規定による可児市個人情報保護条例（平成11年可児市条例第23号。以下「可児市条例」という。）第12条の2の規定によるその業務に関して知り得た旧条例第1条に規定する個人情報等（以下「旧個人情報等」という。）の内容をみだりに他人に知らせ、又は不当な目的に利用してはならない義務については、前条の規定の施行後も、なお従前の例による。

(1) 前条の規定の施行の際現に旧条例第2条に規定する実施機関（以下「旧実施機関」という。）の職員である者又は前条の規定の施行前において旧実施機関の職員であった者のうち、同条の規定の施行前において旧個人情報等の取扱いに従事していた者

(2) 前条の規定の施行前において旧実施機関から旧個人情報等の取扱いの委託を受けた業務に従事していた者

2 この条例の施行の日前に旧条例第5条の規定による可児市条例第15条、第20条又は第21条の規定による請求がされた場合における可児市条例に規定する保有個人情報の開示、訂正、利用の停止及び消去並びに提供の停止については、なお従前の例による。

3 次に掲げる者が、正当な理由がないのに、前条の規定の施行前において旧実施機関が保有していた個人の秘密に属する事項が記録された旧条例第5条の規定による可児市条例第2条に規定する保有個人情報を含む情報の集合物で、一定の事務の目的を達成するために特定の保有個人情報を電子計算機を用いて検索することができるように体系的に構成したもの（その全部又は一部を複製し、又は加工したものを含む。）を前条の規定の施行後に提供したときは、2年以下の懲役又は100万円以下の罰金に処する。

(1) 前条の規定の施行の際現に旧実施機関の職員である者又は同条の規定の施行前において旧実施機関の職員であった者

(2) 第1項第2号に掲げる者

(3) 旧条例第5条の規定による可児市条例第14条の2第1項に規定する指定管理者が行う公の施設の管理に係る業務に従事している者若しくは従事していた者

4 前項各号に掲げる者が、その業務に関して知り得た前条の規定の施行前において旧実施機関が保有していた旧条例第5条の規定による可児市条例第2条に規定する保有個人情報を前条の施行後に自己若しくは第三者の不正な利益を図る目的で提供し、又は盗用したときは、1年以下の懲役又は50万円以下の罰金に処する。

5 前2項の規定は、本組合の関係市町村の区域外においてこれらの項の罪を犯した者にも適用する。

第4条 附則第2条の規定により旧条例の規定がその効力を失う前にした違反行為の処罰については、その失効後も、なお従前の例による。

議案第6号

可茂衛生施設利用組合一般廃棄物処理施設建設候補地選定委員会設置条例の
制定について

可茂衛生施設利用組合一般廃棄物処理施設建設候補地選定委員会設置条例を次のとおり
制定する。

令和5年3月15日提出

可茂衛生施設利用組合管理者 富田 成輝

記

可茂衛生施設利用組合一般廃棄物処理施設建設候補地選定委員会設置条例

(設置)

第1条 可茂衛生施設利用組合（以下「組合」という。）が新たに建設する一般廃棄物処理施設の建設候補地（以下「候補地」という。）を選定するため、地方自治法(昭和22年法律第67号)第138条の4第3項の規定に基づき、可茂衛生施設利用組合一般廃棄物処理施設建設候補地選定委員会（以下「委員会」という。）を置く。

(所掌事務)

第2条 委員会は、候補地の評価、選定に関する事項について、組合の管理者（以下「管理者」という。）の諮問に応じ答申する。

(組織)

第3条 委員会は、委員7人以内をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから、管理者が委嘱する。

- (1) 学識経験者
- (2) 行政機関の職員
- (3) その他管理者が必要と認める者

(任期)

第4条 委員の任期は、管理者へ答申した日の属する年度の末日までとする。

(委員長)

第5条 委員会に委員長を置く。

2 委員長は、委員の互選により定める。

3 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。

4 委員長に事故があるとき又は委員長が欠けたときは、あらかじめ委員長の指名する委員がその職務を代理する。

(会議)

第6条 委員会の会議（以下「会議」という。）は、委員長が招集する。ただし、委員委嘱

後の最初の会議は、管理者が招集する。

- 2 委員長は、会議の議長となる。
- 3 会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。
- 4 会議の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 5 委員会は、必要があると認めるときは、委員以外の者に会議への出席を求め、説明又は意見を聴取することができる。
- 6 会議は、可茂衛生施設利用組合情報公開条例（平成30年可茂衛生施設利用組合条例第2号）第5条に例によると定める可児市情報公開条例（平成11年可児市条例第22号）第7条第4号の規定に基づき非公開とする。

（秘密の保持）

第7条 委員及び会議に出席した者は、職務上知り得た情報を漏らしてはならない。その職を退いた後も同様とする。ただし、組合が公表した情報については、この限りではない。

（委任）

第8条 この条例に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が委員会に諮って定める。

附 則

この条例は、令和5年4月1日から施行する。

議案第7号

可茂衛生施設利用組合職員の再任用に関する条例を廃止する条例の制定について

可茂衛生施設利用組合職員の再任用に関する条例を廃止する条例を次のとおり制定する。

令和5年3月15日提出

可茂衛生施設利用組合管理者 富田 成輝

記

可茂衛生施設利用組合職員の再任用に関する条例を廃止する条例

可茂衛生施設利用組合職員の再任用に関する条例（平成13年可茂衛生施設利用組合条例第2号）は、廃止する。

附 則

この条例は、令和5年4月1日から施行する。

議案第8号

可茂衛生施設利用組合手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について

可茂衛生施設利用組合手数料徴収条例の一部を改正する条例を次のとおり制定する。

令和5年3月15日提出

可茂衛生施設利用組合管理者 富田 成輝

記

可茂衛生施設利用組合手数料徴収条例の一部を改正する条例

可茂衛生施設利用組合手数料徴収条例（平成28年可茂衛生施設利用組合条例第7号）の一部を次のように改正する。

改正前			改正後		
別表（第2条関係）			別表（第2条関係）		
事務の区分		額	事務の区分		額
種類	内容		種類	内容	
(略)			(略)		
2	可茂衛生施設利用組合情報公開条例（平成30年可茂衛生施設利用組合条例第2号。以下この項において「公開条例」という。）又は可茂衛生施設利用組合個人情報保護条例（平成30年可茂衛生施設利用組合条例第3号。以下この項において「保護条例」という。）の施行に関する事務	(略)	2	可茂衛生施設利用組合情報公開条例（平成30年可茂衛生施設利用組合条例第2号。以下この項において「公開条例」という。） <u>、可茂衛生施設利用組合個人情報の保護に関する法律施行条例（令和5年可茂衛生施設利用組合条例第●号。以下この項において</u>	(略)

			「議会保護条例」という。）	
			の施行に関する	
			事務	
(略)			(略)	

附 則

- 1 この条例は、令和5年4月1日から施行する。
- 2 前項の規定による施行の日前に可茂衛生施設利用組合個人情報保護条例（平成30年可茂衛生施設利用組合条例第3号）第5条に規定する可児市個人情報保護条例（平成11年可児市条例第23号）第15条に規定する自己に関する保有個人情報等の写しの交付を請求した場合の手数料については、なお従前の例による。